

クラスター	病理・病態系クラスター			
授業科目名	周産期の病理学・実習			
担当者名	責任者	寺田 幸弘	分担者	三浦 広志
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	講義		実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			

**授業の概要・到達目標**

授業の目的: 周産期医学は「母児医学」であり、従来の「産科学」に「胎児医学」が加わった広大な医学である。とくに胎児に関しては、未知の領域が多く、まさに発展途上の医学とも言える。授業では、胎児の発育や発達に始まり胎児疾患については、その病態、診断、そして最先端の胎児治療に至るまでを学ぶことを目的とする。

授業の到達目標: 実習では、おもに超音波断層法(血液ドップラー、3D/4Dも含む)を用いて、胎児の観察および評価を実際に行う。

**授業の概要:**

- 1.2. 生殖とは～なくなる命の流れ～
- 3.4. 胎児発育モニタリングの実際
- 5.6. 周産期合併症
- 7.8. 周産期医療の未来

**授業計画**

	講義 (講義内容)	題目 (内容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	生殖とは ~なくなる命の流れ~		寺田 幸弘	産婦人科学 〔講座医局〕
2				
3	胎児発育モニタリングの実際		三浦 広志	
4				
5	周産期合併症		三浦 広志	
6				
7	周産期医療の未来		三浦 広志	
8				

**授業形態および成績の評価方法・基準**

講義室(研究室)での講義30時間+自学自習15時間、計45時間で1単位とし、評価は出席状況と提出したレポートの内容を考慮して行う。

**問い合わせ先(氏名、メールアドレス等)**

寺田 幸弘, teraday@doc.med.akita-u.ac.jp

**その他特記事項**

履修に関する情報: 社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。

自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。